

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成25年11月11日

**【四半期会計期間】** 第98期第2四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

**【会社名】** 北越メタル株式会社

**【英訳名】** HOKUETSU METAL Co., Ltd.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 住 田 規

**【本店の所在の場所】** 新潟県長岡市蔵王三丁目3番1号

**【電話番号】** 0258-24-5111(代表)

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役総務本部長 米 山 克 巳

**【最寄りの連絡場所】** 新潟県長岡市蔵王三丁目3番1号

**【電話番号】** 0258-24-5111(代表)

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役総務本部長 米 山 克 巳

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第97期 第2四半期 連結累計期間	第98期 第2四半期 連結累計期間	第97期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (千円)	10,333,999	10,134,484	20,254,808
経常利益又は経常損失( ) (千円)	303,330	113,048	488,804
四半期(当期)純利益又は四半期 純損失( ) (千円)	167,439	121,165	284,959
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	95,571	105,866	420,323
純資産額 (千円)	13,946,693	14,017,731	14,173,276
総資産額 (千円)	24,053,586	22,625,219	23,741,162
1株当たり四半期(当期)純利益 又は四半期純損失( ) (円)	8.43	6.22	14.43
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)			
自己資本比率 (%)	57.44	61.36	59.16
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	149,396	641,318	1,531,863
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	133,369	406,286	426,531
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	819,099	288,146	1,923,910
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	4,697,647	3,346,389	4,682,141

回次	第97期 第2四半期 連結会計期間	第98期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益又は四 半期純損失( ) (円)	5.55	5.92

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していない。

2. 売上高には、消費税等は含まれていない。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益は、潜在株式が存在せず、また第98期第2四半期連結累計期間については1株当たり四半期純損失を計上しているため、記載していない。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はない。

また、主要な関係会社についても異動はない。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はない。

なお、重要事象等は存在していない。

### 2 【経営上の重要な契約等】

該当事項なし。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による経済政策や金融政策が好感され、円安と株高が進行し、輸出環境の持ち直しなどから、景気は緩やかな回復傾向が見られるものの、实体经济は依然として厳しく、消費税増税に対する影響や雇用環境など、先行き不透明な状況で推移した。

当社グループの関連業界においても、景気対策関連の公共投資は伸びているものの、建設業界の人手不足等による工事遅延や着工遅れから鋼材需要は伸びなかったことに加え、主原料である鉄スクラップ価格とエネルギーコストの上昇に見合う製品販売価格の改善に努力したものの、価格改善には至らず、厳しい経営環境となった。

当社としては、最終年度となった改善活動「ACC1000」を主体に全社一丸となってコスト低減などに取り組み、更に鉄スクラップ価格の上昇等に伴い、製品販売価格の改善と製品販売数量の確保に鋭意努力した。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、製品販売数量の減少などにより、10,134百万円(前年同四半期比1.9%減)となった。

収益面では、鉄スクラップ価格の上昇が大きく影響し、経常損失は113百万円(前年同四半期303百万円の経常利益)、四半期純損失は121百万円(前年同四半期167百万円の四半期純利益)となった。

#### (2) 財政状態の分析

##### 資産

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,115百万円減少して、22,625百万円となった。

これは主に、現金及び預金の減少(前連結会計年度末比1,323百万円の減少)により、流動資産が前連結会計年度末に比べ1,027百万円減少して、13,739百万円になったことによるものである。

## 負債

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ960百万円減少して、8,607百万円となった。

これは主に、支払手形及び買掛金の減少(前連結会計年度末比537百万円の減少)により、流動負債が前連結会計年度末に比べ875百万円減少して、7,184百万円になったことによるものである。

## 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ155百万円減少して、14,017百万円となった。

これは主に、四半期純損失121百万円を計上したことによるものである。

また、自己資本比率については、前連結会計年度末の59.2%から2.2ポイント増加して、当第2四半期連結会計期間末には61.4%となった。

### (3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、3,346百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,335百万円(28.5%)減少した。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりである。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金は、641百万円の減少(前年同四半期比790百万円の減少)となった。収入の主な内訳は、減価償却費369百万円、売上債権の減少270百万円であり、支出の主な内訳は、仕入債務の減少537百万円、たな卸資産の増加493百万円である。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金は、406百万円の減少(前年同四半期比272百万円の減少)となった。これは主に、有形固定資産の取得による支出386百万円によるものである。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金は、288百万円の減少(前年同四半期比530百万円の増加)となった。これは主に、長期借入金の返済による支出327百万円によるものである。

### (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はない。

### (5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の試験研究費の総額は、2百万円である。

なお、当第2四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はない。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	55,950,000
計	55,950,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年11月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	19,970,000	19,970,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は1,000株である。
計	19,970,000	19,970,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項なし。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項なし。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項なし。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年9月30日		19,970,000		1,969,269		1,399,606

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
トピー工業株式会社	東京都品川区大崎一丁目2番2号	6,610	33.10
伊藤忠メタルズ株式会社	東京都港区北青山二丁目5番1号	1,741	8.72
株式会社損害保険ジャパン	東京都新宿区西新宿一丁目26番1号	1,000	5.01
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	東京都中央区日本橋一丁目4番1号	869	4.35
株式会社北越銀行	新潟県長岡市大手通二丁目2番地14	860	4.31
株式会社第四銀行	新潟県新潟市中央区東堀前通七番町1071番地1	682	3.42
株式会社関茂助商店	新潟県長岡市柏町二丁目7番6号	380	1.90
北越メタル社員持株会	新潟県長岡市蔵王三丁目3番1号	308	1.55
公益財団法人山口育英奨学会	新潟県長岡市小国町横沢802番地	278	1.39
トピー実業株式会社	東京都品川区大崎一丁目2番2号	261	1.31
計		12,992	65.06

(注) 上記のほか、自己株式が480千株ある。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 480,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 19,406,000	19,406	
単元未満株式	普通株式 84,000		1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	19,970,000		
総株主の議決権		19,406	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式765株が含まれている。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 北越メタル株式会社	新潟県長岡市蔵王 三丁目3番1号	480,000		480,000	2.4
計		480,000		480,000	2.4

2 【役員の状況】

該当事項なし。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成している。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、高志監査法人により四半期レビューを受けている。



1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,868,241	3,544,493
受取手形及び売掛金	<sup>1</sup> 4,667,199	4,259,112
電子記録債権	1,936,541	2,074,618
商品及び製品	1,800,032	2,344,903
仕掛品	67,463	53,214
原材料及び貯蔵品	1,328,344	1,290,801
繰延税金資産	90,233	127,621
その他	24,865	65,350
貸倒引当金	15,512	20,491
流動資産合計	14,767,408	13,739,624
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,203,764	8,224,324
減価償却累計額	5,271,337	5,363,390
建物及び構築物(純額)	2,932,426	2,860,933
機械装置及び運搬具	19,445,919	19,447,249
減価償却累計額	16,797,781	16,838,592
機械装置及び運搬具(純額)	2,648,137	2,608,657
工具、器具及び備品	1,877,454	1,884,304
減価償却累計額	1,612,212	1,610,711
工具、器具及び備品(純額)	265,241	273,593
土地	1,782,632	1,769,141
リース資産	93,625	116,333
減価償却累計額	29,679	39,982
リース資産(純額)	63,946	76,350
建設仮勘定	-	13,930
有形固定資産合計	7,692,384	7,602,606
無形固定資産		
ソフトウェア	10,642	9,690
その他	4,026	3,983
無形固定資産合計	14,669	13,673
投資その他の資産		
投資有価証券	1,004,573	1,032,562
繰延税金資産	199,577	170,173
その他	79,482	83,260
貸倒引当金	16,933	16,681
投資その他の資産合計	1,266,700	1,269,314
固定資産合計	8,973,754	8,885,594
資産合計	23,741,162	22,625,219

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	<sup>1</sup> 6,117,018	5,579,219
短期借入金	1,092,452	944,847
未払法人税等	106,985	26,831
その他	<sup>1</sup> 743,554	633,137
流動負債合計	8,060,010	7,184,034
固定負債		
社債	150,000	150,000
長期借入金	534,434	454,124
退職給付引当金	650,989	659,513
役員退職慰労引当金	125,352	-
資産除去債務	6,469	6,505
その他	40,630	153,310
固定負債合計	1,507,875	1,423,453
負債合計	9,567,886	8,607,488
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,969,269	1,969,269
資本剰余金	1,399,606	1,399,606
利益剰余金	10,559,492	10,389,601
自己株式	81,268	81,412
株主資本合計	13,847,100	13,677,066
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金	198,845	206,618
その他の包括利益累計額合計	198,845	206,618
少数株主持分	127,330	134,046
純資産合計	14,173,276	14,017,731
負債純資産合計	23,741,162	22,625,219

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	10,333,999	10,134,484
売上原価	8,804,433	9,051,442
売上総利益	1,529,565	1,083,042
販売費及び一般管理費	<sup>1</sup> 1,229,635	<sup>1</sup> 1,212,734
営業利益又は営業損失( )	299,929	129,692
営業外収益		
受取利息	374	307
受取配当金	18,034	17,058
その他	12,569	11,984
営業外収益合計	30,978	29,350
営業外費用		
支払利息	21,915	10,505
手形売却損	592	596
その他	5,069	1,604
営業外費用合計	27,578	12,706
経常利益又は経常損失( )	303,330	113,048
特別利益		
固定資産売却益	4,581	3,373
保険解約返戻金	1,158	-
受取保険金	-	7,576
特別利益合計	5,740	10,949
特別損失		
固定資産売却損	8,274	-
減損損失	14,556	13,490
固定資産除却損	10,090	3,658
ゴルフ会員権評価損	978	-
特別損失合計	33,898	17,149
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	275,171	119,248
法人税等	106,480	5,609
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失( )	168,691	113,638
少数株主利益	1,252	7,526
四半期純利益又は四半期純損失( )	167,439	121,165

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	168,691	113,638
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	73,120	7,772
その他の包括利益合計	73,120	7,772
四半期包括利益	95,571	105,866
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	94,319	113,393
少数株主に係る四半期包括利益	1,252	7,526

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	275,171	119,248
減価償却費	351,479	369,147
減損損失	14,556	13,490
退職給付引当金の増減額( は減少)	35,582	8,524
役員退職慰労引当金の増減額( は減少)	36,736	125,352
貸倒引当金の増減額( は減少)	3,287	4,726
受取利息及び受取配当金	18,408	17,365
支払利息	22,508	11,102
有形固定資産売却損益( は益)	3,692	3,373
有形固定資産除却損	10,090	3,658
売上債権の増減額( は増加)	113,954	270,130
たな卸資産の増減額( は増加)	303,601	493,080
仕入債務の増減額( は減少)	508,862	537,799
ゴルフ会員権評価損	978	-
受取保険金	-	7,576
保険解約損益( は益)	1,158	-
その他	162,068	58,023
小計	179,758	564,991
利息及び配当金の受取額	18,417	17,378
利息の支払額	20,606	10,045
法人税等の支払額	40,043	100,950
法人税等の還付額	11,870	13,363
保険金の受取額	-	3,925
営業活動によるキャッシュ・フロー	149,396	641,318
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	45,001	12,002
定期預金の払戻による収入	38,525	-
有形固定資産の取得による支出	123,023	386,627
有形固定資産の売却による収入	5,463	3,200
無形固定資産の取得による支出	1,243	1,395
投資有価証券の取得による支出	277	605
投資その他の資産の増減額( は増加)	7,812	8,854
投資活動によるキャッシュ・フロー	133,369	406,286
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額( は減少)	405,000	50,000
長期借入れによる収入	-	50,000
長期借入金の返済による支出	313,140	327,915
自己株式の取得による支出	34	143
配当金の支払額	89,499	48,817
少数株主への配当金の支払額	1,080	810
リース債務の返済による支出	10,344	10,459
財務活動によるキャッシュ・フロー	819,099	288,146
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	803,071	1,335,751
現金及び現金同等物の期首残高	5,500,719	4,682,141
現金及び現金同等物の四半期末残高	<sup>1</sup> 4,697,647	<sup>1</sup> 3,346,389



【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項なし。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項なし。

(会計方針の変更等)

該当事項なし。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項なし。

(追加情報)

当第2四半期連結累計期間  
(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社及び連結子会社は、役員の退職慰労金の支払に備えるため、内規に基づく期末要支給額を「役員退職慰労引当金」として計上していたが、それぞれの取締役会において、役員退職慰労金制度の廃止を決議し、平成25年6月開催の定時株主総会において役員退職慰労金の打切り支給(支給の時期は各取締役及び各監査役の退任時)を決議した。

これに伴い、第1四半期連結会計期間において、「役員退職慰労引当金」の全額を取崩し、打切り支給に伴う未払額103,620千円を固定負債の「その他」に含めて表示している。

(四半期連結貸借対照表関係)

- 1 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理している。なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理している。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形	578,794千円	
支払手形	234,575 "	
設備購入支払手形 (流動負債「その他」)	77,669 "	

(四半期連結損益計算書関係)

- 1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりである。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
出荷費	660,236千円	641,196千円
給与手当	162,808 "	162,260 "
貸倒引当金繰入額	3,287 "	5,506 "
役員退職慰労引当金繰入額	12,437 "	5,827 "
退職給付費用	15,182 "	14,582 "
公租公課	17,499 "	15,208 "
減価償却費	24,553 "	29,651 "
試験研究費	2,374 "	2,217 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりである。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金	4,876,748千円	3,544,493千円
預入期間が3か月を超える定期預金	179,100 "	198,103 "
現金及び現金同等物	4,697,647千円	3,346,389千円



(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	89,360	4.50	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年11月1日 取締役会	普通株式	39,715	2.00	平成24年9月30日	平成24年12月4日	利益剰余金

3 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項なし。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月20日 定時株主総会	普通株式	48,725	2.50	平成25年3月31日	平成25年6月21日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項なし。

3 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項なし。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

当社グループは、「鉄鋼事業」の単一セグメントであるため、記載を省略している。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

当社グループは、「鉄鋼事業」の単一セグメントであるため、記載を省略している。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動はない。

(有価証券関係)

会社の事業の運営において重要性に乏しいため記載していない。

(デリバティブ取引関係)

当社グループはデリバティブ取引を全く利用していないので、該当事項はない。

(企業結合等関係)

該当事項なし。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりである。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益又は四半期純損失( )	8円43銭	6円22銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益又は四半期純損失( )(千円)	167,439	121,165
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失( )(千円)	167,439	121,165
普通株式の期中平均株式数(株)	19,857,839	19,489,584

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在せず、また、当第2四半期連結累計期間については1株当たり四半期純損失を計上しているため、記載していない。

(重要な後発事象)

該当事項なし。

2 【その他】

該当事項なし。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項なし。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月1日

北越メタル株式会社  
取締役会 御中

高志監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 阿部和人 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 渡邊芳明 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている北越メタル株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、北越メタル株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管している。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていない。